

こそだ からだ けんこう ちしき おし
子育ては、体の健康だけでなく、知識も教えなければならないのです。

ちやうなん さんさい とき すうじ にほんご ぜんぜん はや おぼ
長男が三才の時、数字や日本語のひらがなは、全然かけませんでした。早く覚えて

ほ おも こども おお かみ すうじ なんかい か じょうず
欲しいと思い、子供に大きい紙に、数字やひらがなを何回も書かせました。でも、上手

か
に書けないし、すぐに忘れてしまいます。もったきびしく勉強をさせようとすると、

しゅじん いま ひつよう いけん わたし かんが
主人は「今、そんなにきびしくする必要はない」という意見で私と考えがちがいま

した。その後は、子供にだけ勉強をさせるのではなく、私も子供と一緒に、日本語

べんきょう こと
を勉強する事にしました。

こども ただ にほんご おぼ おも ほいくえん い そうげい とき ほいく
子供に、正しい日本語を覚えてほしいと思い、保育園に入れました。送迎の時、保育

えん せんせい ひ こと き わたし はなし き
園の先生から、その日にあった事を聞いたり、私の話を聞いてもらったりしました。

そのおかげで、子供との触れあいができました。日本語もひとつずつわかって、だんだ

にほんご す にほんご べんきょう じゅんちよう つづ
ん日本語が好きになり、日本語の勉強も順調に続けています。

こども おぼ はや わたし にほんご とき こども なお
子供は、覚えるのが早いので、私が日本語をまちがえた時、子供がすぐに直してく

れます。絵本を読む時、最初は私が読んであげていますが、途中でまちがえて読

むと、子供が直して、逆に、読んでくれます。子供に負けないぞ！その気持ちを強く

も べんきょう つづ わたし ぼあい べんきょう こそだ
持って勉強を続けています。つまり、私の場合は、勉強しながらの子育てであり、

こそだ べんきょう
子育てしながらの勉強なのです。

ちやうなん ことし よねんせい たんにん せんせい がっこう べんきょう だいじょうぶ
長男は、今年、四年生になります。担任の先生からは、学校の勉強は大丈夫で

すよと言われていますが、下の子が、今年、一年生になるので、心配な事が、まだま

だ、沢山あります。これからも、子供と一緒に四年生と一年生になるつもりで、勉強

つづ おも
を続けたいと思います。